

都市計画の案の理由書

1 種類・名称

多摩都市計画地区計画 南野二丁目地区地区計画

2 理由

本地区は、大学を中心とした教育施設と住宅施設が一体となった街並みを維持増進すること等を目的とし、平成 18 年に地区計画を決定している。地区計画策定後、約 20 年経過し、社会情勢の変化、少子化や大学の都心回帰などが進んでいる事などから、今後も同様の目的で利活用がされるためには、現状の学校の用途範囲だけでは利活用が難しいと考えている。

多摩市都市計画マスタープラン（令和 7 年 3 月）では、南野二丁目地区地区計画区域は学校教育の多様性の確保や子育て世代の流入を図るため、教育施設としての位置づけの維持・保全を図りつつ、学校用途の拡大を行うとしている。また、多摩のまちづくり戦略（令和 7 年 3 月：東京都）では、将来像の実現に向けた戦略において、“利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出”を位置付け、施策の方向性を“多摩地域の魅力をいかし、子供を育て、住みやすい環境を創出する。”とし、主な取組が示されている。

以上のことから、学園地区の建築物等の用途の制限について、本地区計画を変更するものである。